

「県産材の利用拡大に関する意識調査」についてのアンケート結果

調査時期：平成24年7月

対象者：県政モニター 359人

回答者数：303人（回収率 84.4%）

担当課：森林政策課（県産材流通推進室）

調査目的：

県産材の利活用は、林業の振興や森林の持続的な保全を図るために不可欠であるにもかかわらず、現在、本県森林の年間生長量の1割程度にとどまっています。

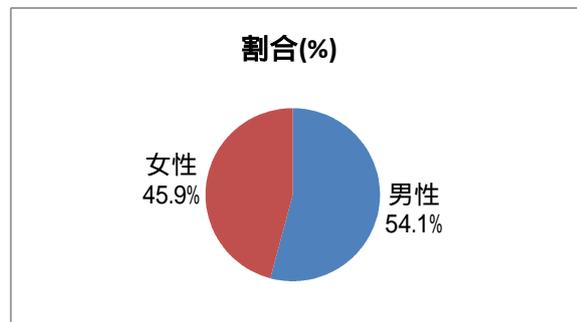
県産材の利用拡大を進めていくうえで、エンドユーザーである県民の皆さんのご理解をいただきながら、利用の拡大を図っていくことは、大変重要です。

そこで県産材活用の主要な分野である住宅・公共建築施設などに関するご意見を伺い、より効果的な施策展開のための検討や、加工・流通事業者への情報のフィードバックなどを行うための基礎資料として活用するため、アンケートを実施しました。

属性データ

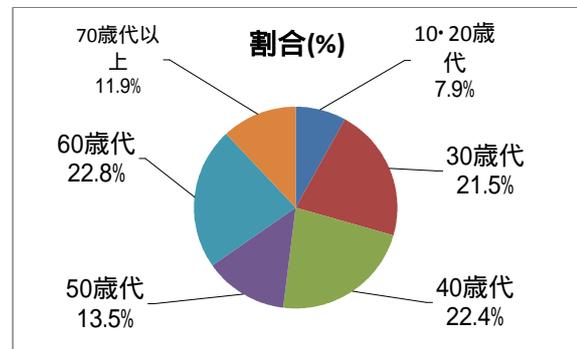
性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	164	54.1%
女性	139	45.9%
計	303	



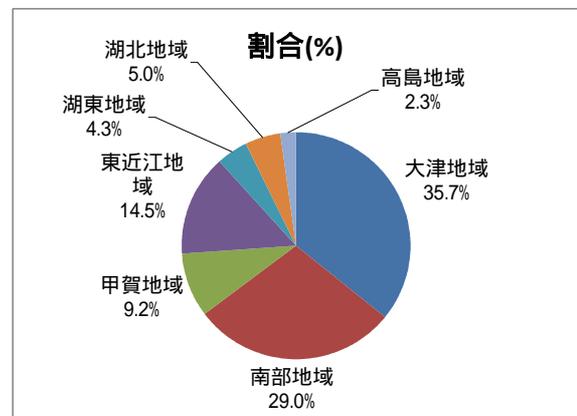
年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	24	7.9%
30歳代	65	21.5%
40歳代	68	22.4%
50歳代	41	13.5%
60歳代	69	22.8%
70歳代以上	36	11.9%
計	303	



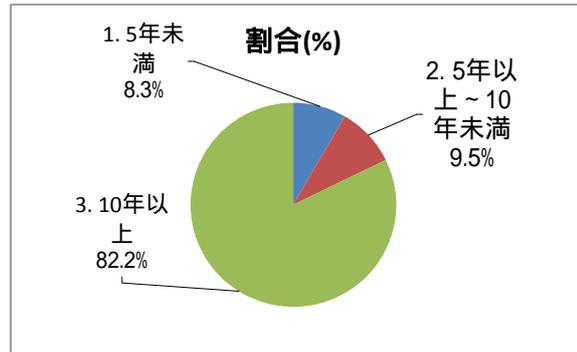
地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	108	35.7%
南部地域	88	29.0%
甲賀地域	28	9.2%
東近江地域	44	14.5%
湖東地域	13	4.3%
湖北地域	15	5.0%
高島地域	7	2.3%
計	303	



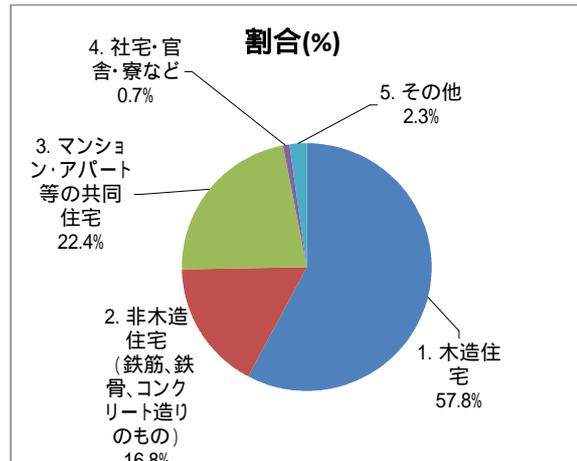
問1: 滋賀県に住んでいる期間を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 5年未満	25	8.3%
2. 5年以上～10年未満	29	9.5%
3. 10年以上	249	82.2%
計	303	



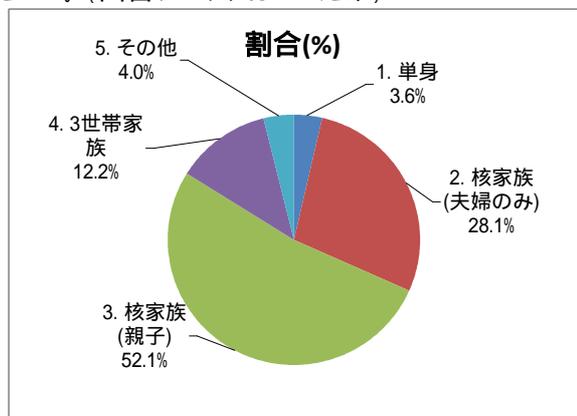
問2: あなたが今お住まいになっている住宅について教えてください。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 木造住宅	175	57.8%
2. 非木造住宅 (鉄筋、鉄骨、コンクリート造りのもの)	51	16.8%
3. マンション・アパート等の 共同住宅	68	22.4%
4. 社宅・官舎・寮など	2	0.7%
5. その他	7	2.3%
計	303	



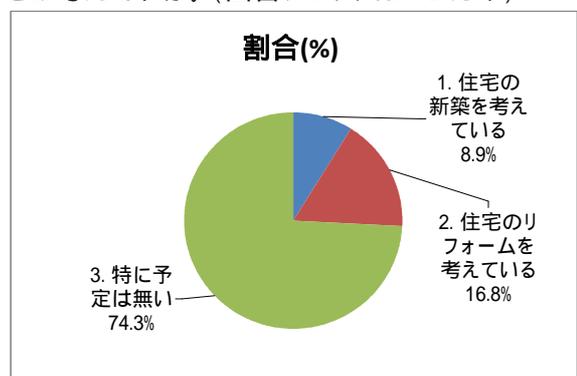
問3: あなたが今お住まいの家族構成について教えてください。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 単身	11	3.6%
2. 核家族(夫婦のみ)	85	28.1%
3. 核家族(親子)	158	52.1%
4. 3世帯家族	37	12.2%
5. その他	12	4.0%
計	303	



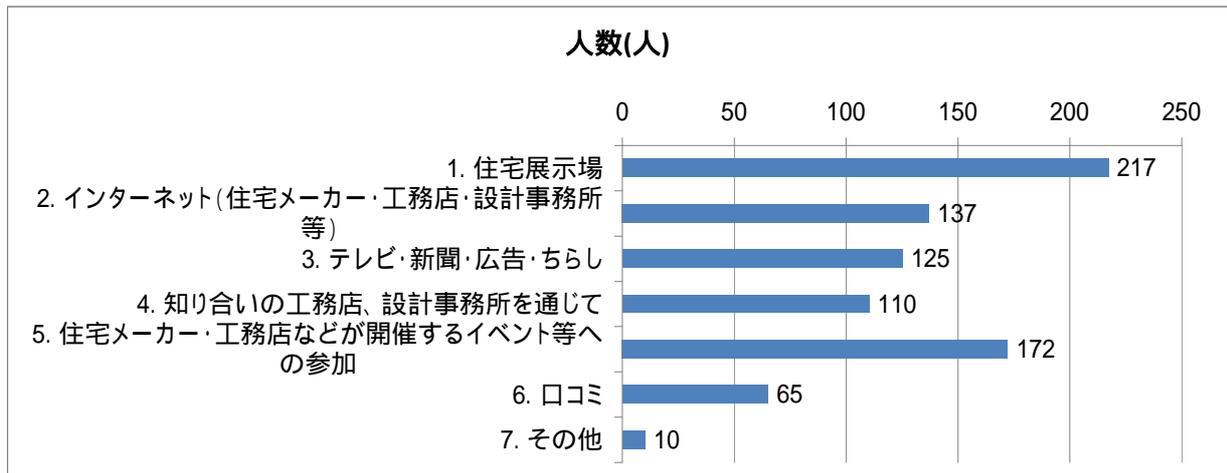
問4: あなたは、近い将来、住宅の新築またはリフォームをお考えですか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 住宅の新築を考えている	27	8.9%
2. 住宅のリフォームを考えている	51	16.8%
3. 特に予定は無い	225	74.3%
計	303	



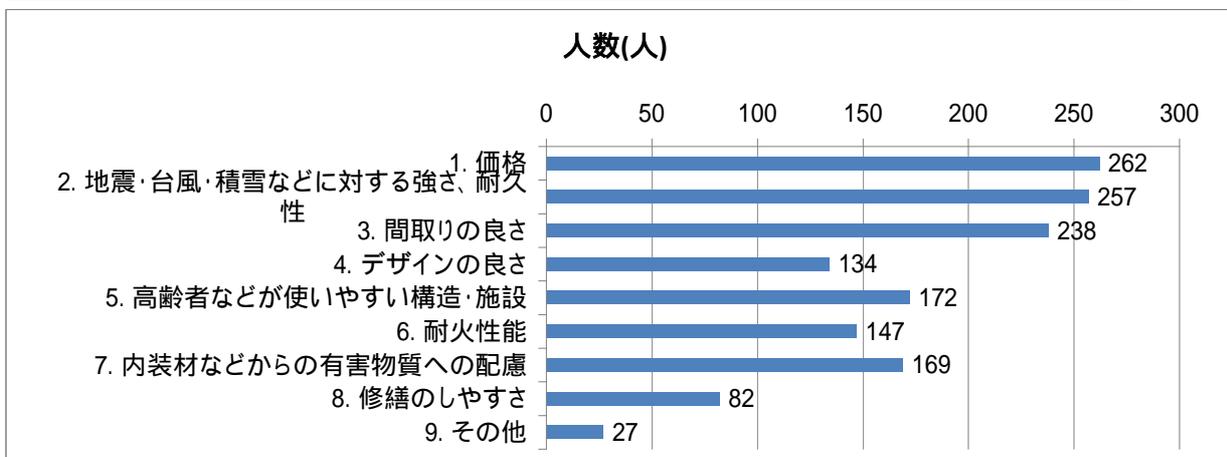
問5:あなたが、もし、住宅を新築するとしたら、住宅の情報はどのような方法で入手されますか。
(複数回答) 割合については、回答者数(303人)を母数として算出。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 住宅展示場	217	71.6%
2. インターネット(住宅メーカー・工務店・設計事務所等)	137	45.2%
3. テレビ・新聞・広告・ちらし	125	41.3%
4. 知り合いの工務店、設計事務所を通じて	110	36.3%
5. 住宅メーカー・工務店などが開催するイベント等への参加	172	56.8%
6. 口コミ	65	21.5%
7. その他	10	3.3%
計	836	



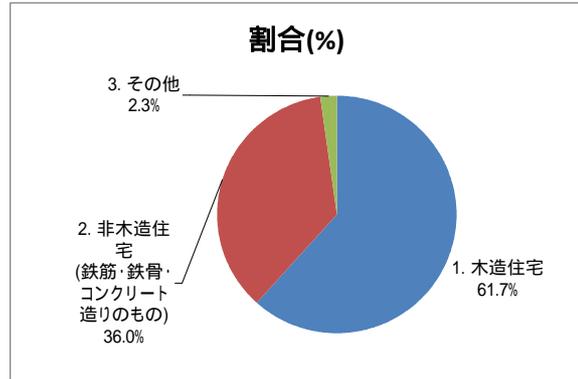
問6:あなたが、もし、住宅を新築するとしたら、どの様なことを重視されますか。(複数回答)
割合については、回答者数(303人)を母数として算出。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 価格	262	86.5%
2. 地震・台風・積雪などに対する強さ、耐久性	257	84.8%
3. 間取りの良さ	238	78.5%
4. デザインの良さ	134	44.2%
5. 高齢者などが使いやすい構造・施設	172	56.8%
6. 耐火性能	147	48.5%
7. 内装材などからの有害物質への配慮	169	55.8%
8. 修繕のしやすさ	82	27.1%
9. その他	27	8.9%
計	1,488	



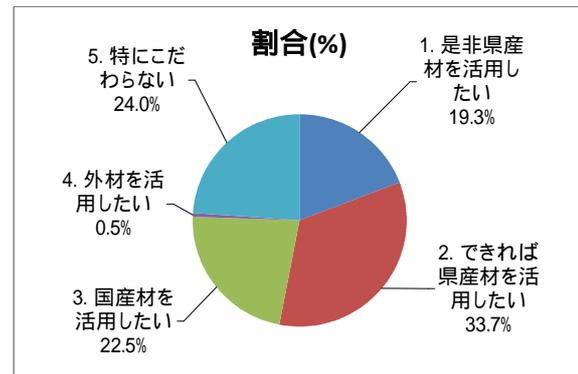
問7:あなたが、もし、住宅を新築するとしたら、どれを選びますか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 木造住宅	187	61.7%
2. 非木造住宅 (鉄筋・鉄骨・コンクリート造りのもの)	109	36.0%
3. その他	7	2.3%
計	303	



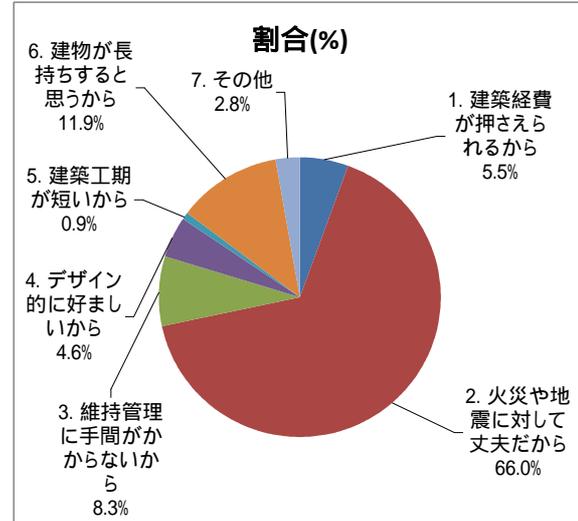
問8:問7で(1)と答えた方にお尋ねします。
使用する木材についてはどの様にお考えですか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 是非県産材を活用したい	36	19.3%
2. できれば県産材を活用したい	63	33.7%
3. 国産材を活用したい	42	22.5%
4. 外材を活用したい	1	0.5%
5. 特にこだわらない	45	24.0%
計	187	



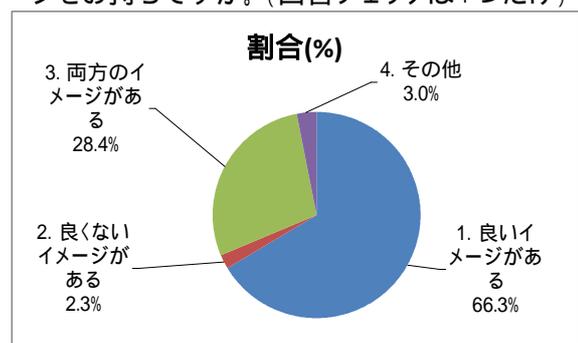
問9:問7で(2)と答えた方にお尋ねします。
その理由は何ですか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 建築経費が押さえられるから	6	5.5%
2. 火災や地震に対して丈夫だから	72	66.0%
3. 維持管理に手間がかからないから	9	8.3%
4. デザイン的に好ましいから	5	4.6%
5. 建築工期が短いから	1	0.9%
6. 建物が長持ちすると思うから	13	11.9%
7. その他	3	2.8%
計	109	



問10:建築資材としての「木材」について、どの様なイメージをお持ちですか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 良いイメージがある	201	66.3%
2. 良くないイメージがある	7	2.3%
3. 両方のイメージがある	86	28.4%
4. その他	9	3.0%
計	303	

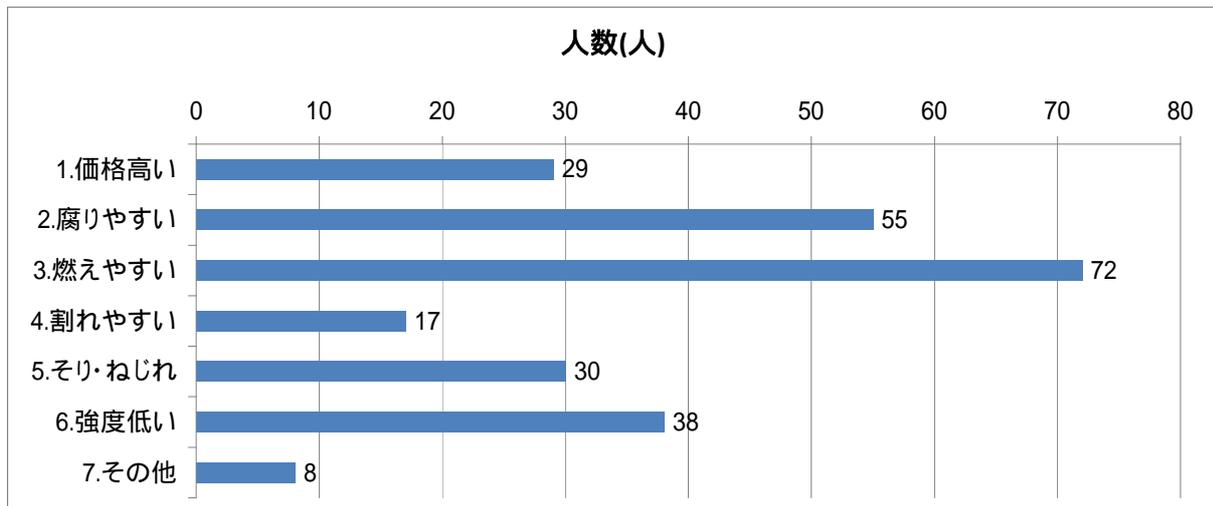


問11:問10で(2),(3)と答えた方にお尋ねします。

建築資材としての「木材」について、どの様な良くない点があるとお考えですか(複数回答)

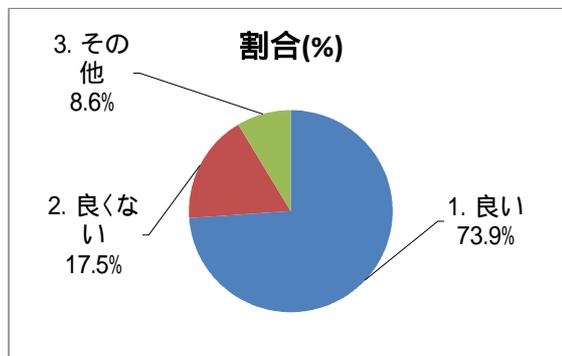
項目	人数(人)	割合(%)
1.価格高い	29	31.2%
2.腐りやすい	55	59.1%
3.燃えやすい	72	77.4%
4.割れやすい	17	18.3%
5.そり・ねじれ	30	32.3%
6.強度低い	38	40.9%
7.その他	8	8.6%
計	249	

割合については、回答者数(93人)を母数として算出。



問12:公共建築物の整備に際しては、木材の利用に努めなければならないことを定めた「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が、平成22年10月に施行されました。あなたは、公共施設の木造・木質化については、どの様にお考えですか。

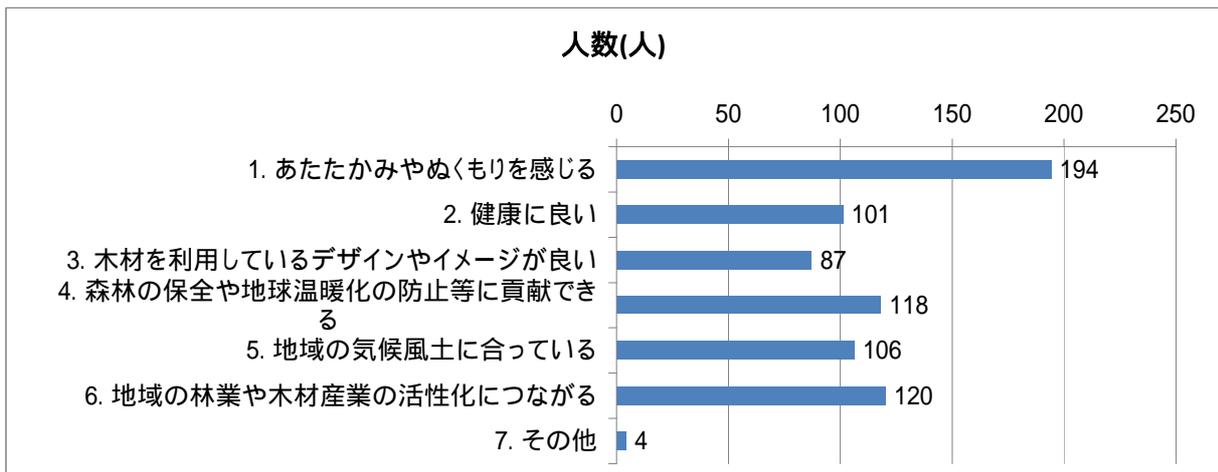
項目	人数(人)	割合(%)
1. 良い	224	73.9%
2. 良くない	53	17.5%
3. その他	26	8.6%
計	303	



問13:問12で(1)と答えた方にお尋ねします。

その理由はどの様なものですか。(複数回答) 割合については、回答者数(224人)を母数として算出。

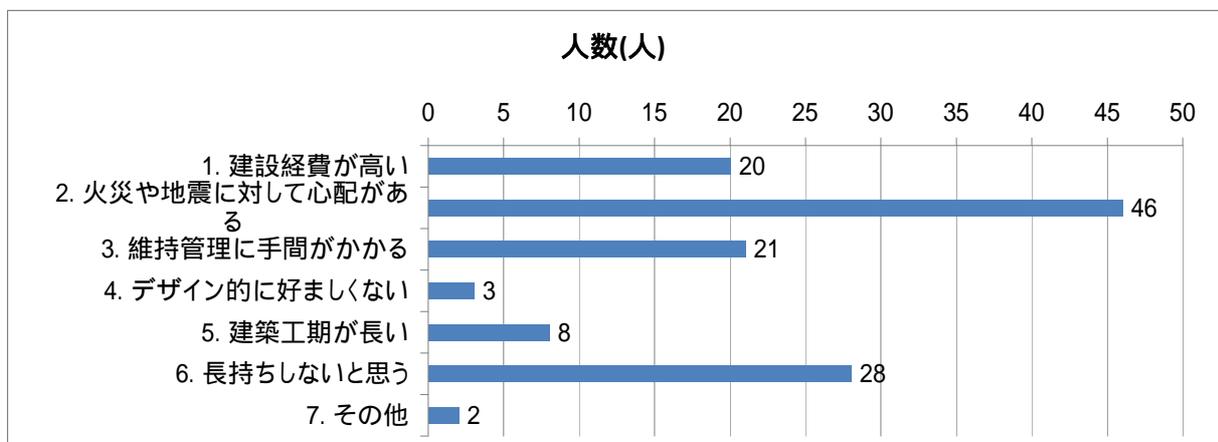
項目	人数(人)	割合(%)
1. あたたかみやぬくもりを感じる	194	86.6%
2. 健康に良い	101	45.1%
3. 木材を利用しているデザインやイメージが良い	87	38.8%
4. 森林の保全や地球温暖化の防止等に貢献できる	118	52.7%
5. 地域の気候風土に合っている	106	47.3%
6. 地域の林業や木材産業の活性化につながる	120	53.6%
7. その他	4	1.8%
計	730	



問14:問12で(2)と答えた方にお尋ねします。

その理由はどのようなものですか。(複数回答) 割合については、回答者数(53人)を母数として算出。

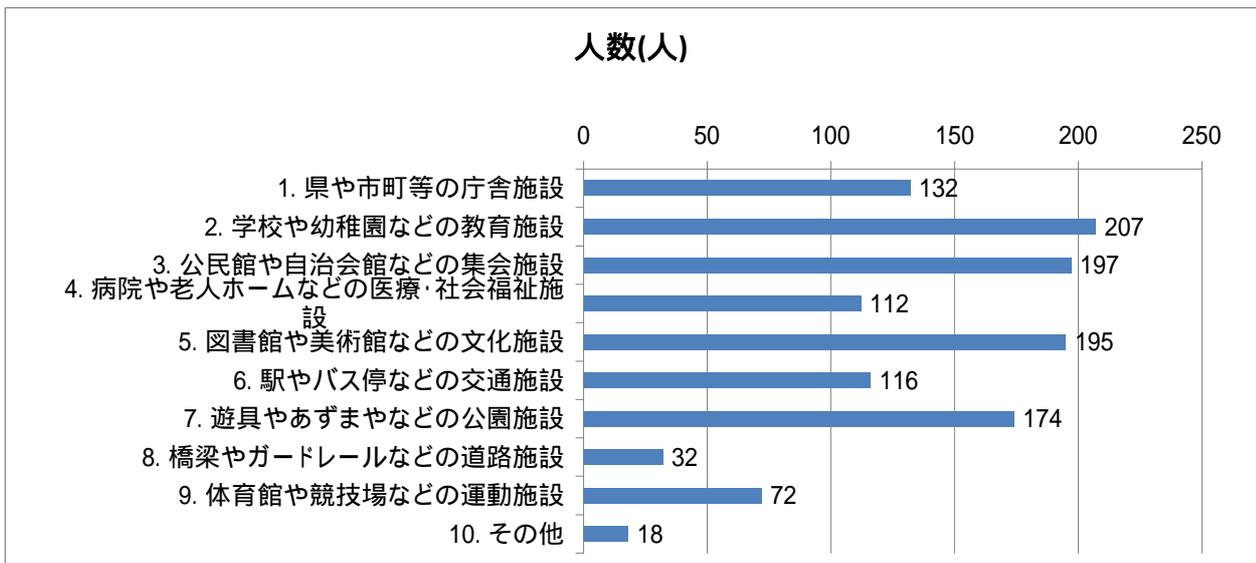
項目	人数(人)	割合(%)
1. 建設経費が高い	20	37.7%
2. 火災や地震に対して心配がある	46	86.8%
3. 維持管理に手間がかかる	21	39.6%
4. デザイン的に好ましくない	3	5.7%
5. 建築工期が長い	8	15.1%
6. 長持ちしないと思う	28	52.8%
7. その他	2	3.8%
計	128	



問15: 公共施設等の整備に関しては、できるだけ県産材を活用することを考えていますが、あなたは、県産材をどの様な施設や場所で利用したら良いと思いますか。(複数回答)

割合については、回答者数(303人)を母数として算出。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 県や市町等の庁舎施設	132	43.6%
2. 学校や幼稚園などの教育施設	207	68.3%
3. 公民館や自治会館などの集会施設	197	65.0%
4. 病院や老人ホームなどの医療・社会福祉施設	112	37.0%
5. 図書館や美術館などの文化施設	195	64.4%
6. 駅やバス停などの交通施設	116	38.3%
7. 遊具やあずまやなどの公園施設	174	57.4%
8. 橋梁やガードレールなどの道路施設	32	10.6%
9. 体育館や競技場などの運動施設	72	23.8%
10. その他	18	5.9%
計	1,255	



問16: 自由記述

主な意見等

- ・私の住んでいる家が木造であり、暖かみのある感触を得ています。滋賀県内は人工林のウエイトが高く、もっと木造住宅や施設を積極的に推進すべきと考えます。私の知人の工務店経営者は、しきりに「木の家」を推奨していますが、もっと推奨すべきと感じます。県産材の活用計画は非常に素晴らしいですが、現存している人工林の保全がまったくできていない。放置林となっており、林業に対する見直しを実施しなければ、県産材の活用は難しいと考えます。具体的な取り組みについて分かりやすいPRをお願いしたい。
- ・最近山の整備が手薄になっているために、土砂災害などが起こると聞いた。日本の財産である森林を守るためにも、県材木の利用を促進していただきたい。
- ・本気で県産材の消費を増やそうというのであれば、1つ2つの施設を木材で造ってみるのではなく、もっと集中して使用を考えてみては。例えば、琵琶湖岸のウッドデッキ・遊歩道(水生植物園を中心として前後2~3kmに遊歩道を作る。カナダのケベック市にあるセントローレンス川沿いの木質遊歩道などは大いに参考になる。又はマイアミビーチ、大津市の渚公園など)に敷設したり、木造の博物館、水族館、遊園施設、レストランなど幅広く考えられる。
- ・優しいさわり心地に魅力を感じる木材を大いに活用するべきだと思います。優しいだけでなく、吸湿性、保温性などの点においても、私たちの快適をいつも守ってくれる、優れものです。ただし、耐久性がとことん重視される施設については、鉄筋・鉄骨・コンクリートなどうまく調和をはかり、丈夫で使いやすい建物づくりをすすめるべきだと思います。すべてを木造にせず、すべてを鉄筋・鉄骨・コンクリートにせず、上手にお互いの長所を取り入れながら、共存できると思います。
- ・県産材をしようすることは良いことだが、価格面で高いイメージをどう払拭するかが大切かと思う。

- ・県産材を使用した際の「ポイント」を付加してはどうか。
価格面で比較すると、輸入材を使いたいのが一般消費者サイドの考えではないだろうか。
- ・県産材をつかうことはとても良いことだと思うし、林業の発展にもつながるからどんどんすすめていけばよいと思います。
- ・県産材は、使用時期に来ている木が沢山あるが、切り出しが出来ない、又コストが高く切り出しても売れない状態である。切り出した後の植林・育成管理などをする人が居ない状態である。森林税などをそれに充てる補助金にしては...と思っています。林業が成り立つ仕組み作りを推進することだと思います。
- ・全部木材、というのではなく、内装だけでも木材の柔らかな空間にしてほしい。特に、図書館など、ゆっくりする空間では多用し、分かる所に「滋賀の木を使用している」と明記してほしい。
- ・大きな箱ものを作るのではなく、皆が日常使用してべりりなものを増やすことに木材を利用すれば、需要が増えると思います。
- ・通っていた木造の校舎を思い出しました。校舎の中でも一番気に入っていた場所が、講堂でした。太い柱が何本も天井までのび、どっしりとした空気感がただよっていました。今の子どもたちにも、ぜひ木造校舎の温かみを感じてもらいたいため、新築の際には木造校舎をお願いしたいです。
- ・どのようにすれば使えるのかわからない。
- ・従来通りの伐採方法では、安価な製品は得られません。
林道整備、森林の手入れ、伐採重機の設備を整え、効率よく伐採出来て競争力のある商品を作ることが大事です。
今、裕福になってきた中国は、家具や住宅など木材の需要が増えつつあります。山林の整備をして売れる木材を確保するのが先決です。
- ・今まで木材の産地なんて気にしたことなかったです。外国産ばかりだと思ってました。滋賀県産の木材なんてあるんですね。
- ・結婚して滋賀で暮らすようになって10年近く経ちます。3年前に県産材を活用した木造住宅を建築しました。非木造住宅とは違い、温かみのあるマイホームで家族4人活き活きと生活しています。
最近、「地産地消」という言葉をよく耳にしますが、滋賀県の林業の活性化、資源の有効活用の面からも、県が積極的に県産材の利用を推進すればよいと思います。樹木にとっても住み慣れた滋賀の風土を好むはずで、今後ますます県民にとってプラスとなる事業の展開を期待しています。
- ・県産材の利用・活用のごことは、よく理解ができますが、今さらたとえその木材の需要がでるからといって、地域の林業や林産業の活性化には繋がらないと思います。施策的に遅い感があります。
- ・木造建築の学校等がテレビで紹介されると「いいな」と感じる。
子供のころは学校がすべて木造で、現在の鉄筋の校舎を見ると味気なさを感じ、母校としての懐かしさが、今の子にはあるのだろうか
と常々思います。
耐震性等から鉄筋よりも木造のほうが柔軟性があるように思う。
木造であれば、それについて話がつながって人の輪が広がり、人々の関係がよくなるのではないだろうか。
また、木造の個人住宅も憧れる。当家は旧来の木造家屋ですが、できることなら現代風の木造家屋のデザイン、機能性の家に建て替えたい。
- ・公共施設に活用するべきだと思います。新しいデザイン、新しい活用など、建築の粋を結集し、話題となる建築物を建て、広くPR出来る
ことが、県産材の活用拡大に止まらず、滋賀県の産業拡大につながると思います。
- ・住宅や建築物など、発注の施主に県内産使用を依頼するだけではダメだと思う。資材メーカーに材料として使用しやすいように仕向
けることができないかと思う。
税制の措置などできないか考える(既に実施中なのかもしれませんが)。
県内産の木材が、資材メーカーにとって安価で手に入り材料にしなければ持続可能な施策にならないと思う。
- ・木造住宅の良さは理解していますが、それを県産材の活用といわれても正直なところピンときません。
あくまで木材の良さを訴え、県民が活用するときは輸送コストが少なくて済むことにより、結果的に県産材を多く活用するという
ことではないでしょうか。
- ・木造施設には、思い入れがあります。
個人的な話になってしまいますが、私の出身校は、すべて木造というわけではないにしろ、木のあたたかみを生かしたデザインが施
されていました。
当時は身体を壊し、心まで弱まっていたのですが、そんなとき、校舎に助けられる部分がとても多かったのを思い出します。木の優し
げな色やにおいに包まれているかのような気持ちになったものでした。ですので、病院など人が過ごす場所に、木造は適している
と考えま
す。
- ・住宅建築は素人では分からないところがあり、業者任せになる場合が多い。県産材を使用してるかどうか確かめようがない。
外材と国産材の判別も素人に分からない。業者の言いなりになる場合がほとんどであるのが現状。